

事業群評価調査 (平成29年度実施)

基本戦略名	10 にぎわいと暮らしを支える社会基盤を整備する	事業群主所属	土木部道路建設課
施策名	(1) 九州新幹線西九州ルートなどの人流・物流を支える交通ネットワークの確立	課(室)長名	大塚 正道
事業群名	③ 生活に密着した道路の整備による道路ネットワークの拡充	事業群関係課(室)	

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チャレンジ2020 本文) 昨今の道路整備には、異常気象や少子高齢化、さらには、道路構造物の老朽化など多様な対応が求められています。このため、県民の安全で安心かつ快適な暮らしを確保する国県道の整備や防災対策、交通安全対策、交通円滑化対策、沿道環境・景観対策、長寿命化対策など生活に密着した道路整備を計画的に推進します。						(取組項目) i) 国県道の整備促進	
指 標		最終目標 (H32)	目標 (H28)	実績 (H28)	達成率	(進捗状況の分析)	
事業群	国県道の供用延長(累計)	37.3km	6.1km	7.1km	116%	・公共事業、単独事業とも道路改良調査等を活用し、予定どおり整備促進が図られている。	
関連指標 その他							

2. 28年度取組実績 (H29新規・補正は参考記載)

取組項目	事務事業名 所管課(室)名	事業期間	事業費(上段:実績、下段:計画、単位:千円)			事業対象	28年度事業の実施状況 (29年度新規・補正は事業内容)	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)					28年度事業の成果等	中核事業
			H28実績	一般財源	人件費(参考)			指標	主な目標	H28目標	H28実績	達成率		
			H29計画	一般財源	人件費(参考)					H29目標	—	—		
取組項目 i	道路整備事業(公共)	H28-32	11,785,800	269	—	道路利用者	「地域をつなぐ道路ネットワークの整備」のため、国県道の整備を国庫補助金で実施した。	活動指標	事業箇所数(箇所)	51	51	100%	・(一)野母崎岐宿線(茂木工区)についてトンネルを含む1,108mが完成。 ・現道拡幅である(国)207号(佐瀬拡幅)、(国)499号(岳路拡幅)等は一部供用開始。	○
	道路建設課		12,229,055	156	—			成果指標	整備延長(km)	48	—	—		
		H28-32	3,327,162	460	72,272	道路利用者	「地域をつなぐ道路ネットワークの整備」のため、国県道の整備のうち、短区間の視距改良や路肩拡幅等の小規模な整備を県単独事業で実施した。	活動指標	整備延長(km)	5.5	6.3	115%		
	道路建設課		2,756,903	486	91,842			成果指標	交通支障箇所数の解消(箇所)	5.9	—	—		
	道路整備事業	H28-32	38,922	38,922	1,091	道路利用者	今後の新規事業箇所において、必要性の整理やルートの検討、現地調査等を行なうことで、計画的な整備を行なうとともに、事業化後の問題点解消を図った。	活動指標	調査箇所数(箇所)	0.5	0.8	100%	・(一)長崎漁港村松線(平床工区)については平成28年度に完成し、幅員狭小による交通支障箇所が解消された。	
	道路建設課		20,000	20,000	1,728			成果指標	整備延長(km)	0.6	—	—		
	道路改良調査費	H28-32	38,922	38,922	1,091	道路利用者	今後の新規事業箇所において、必要性の整理やルートの検討、現地調査等を行なうことで、計画的な整備を行なうとともに、事業化後の問題点解消を図った。	活動指標	調査箇所数(箇所)	22	23	104%		
	道路建設課		20,000	20,000	1,728			成果指標	新規箇所数(箇所)	22	—	—		
	道路整備事業	H28-32	38,922	38,922	1,091	道路利用者	今後の新規事業箇所において、必要性の整理やルートの検討、現地調査等を行なうことで、計画的な整備を行なうとともに、事業化後の問題点解消を図った。	活動指標	調査箇所数(箇所)	6	6	100%	・他工区との調整が必要な新規事業箇所において、事業進捗が図られたことから目標より1箇所多い5箇所の新規事業化となった。	
	道路建設課		20,000	20,000	1,728			成果指標	新規箇所数(箇所)	4	5	125%		
	道路改良調査費	H28-32	38,922	38,922	1,091	道路利用者	今後の新規事業箇所において、必要性の整理やルートの検討、現地調査等を行なうことで、計画的な整備を行なうとともに、事業化後の問題点解消を図った。	活動指標	調査箇所数(箇所)	4	—	—		
	道路建設課		20,000	20,000	1,728			成果指標	新規箇所数(箇所)	1	—	—		

取組項目 i	みちづくりスクラム事業費	H27-	11	11	0	道路利用者 (対馬市)	重要な幹線道路ネットワークのうち、代替となる市町道の整備を支援することで、地域振興や防災機能向上等を支援した。	活動指標	事業箇所数 (箇所)	1	1	100%	・平成28年度は用地買収を行い一部工事を実施したが、計画の変更が発生した箇所があり進捗が遅延した。		
									1	—	—				
	道路建設課		472	472	0			成果指標	道路進捗率 (%)	11.6	4.6	39%			
										6.1	—	—			

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

i) 国県道の整備促進 ○道路整備事業 (公共・単独)、道路改良調査 ・公共事業、単独事業とも道路改良調査等を活用し、予定どおり整備促進が図られている。 - 公共事業においては、早期に効果が発揮できるように一部供用を開始を行い、目標に対して大きく上回る結果となった。 - 単独事業の交通支障箇所数の解消の進捗が105%となっているが、これは平成27年度に実施できなかった箇所や平成29年度予定箇所を前倒しして実施したためである。 - 目標を解消していない箇所については、引き続き用地取得に努めるとともに、前倒しして工事ができる箇所の精査を行い、早期の効果が発揮できるよう努める。 ○みちづくりスクラム事業費 ・平成26年度から27年度にかけて予定どおり測量・調査・設計を実施したが、対馬島内において近年外国人観光客の増加に伴い当該区間の交通量が増加しており平成28年度に整備区間やルートの検討を行なった。ルートの見直しに伴い進捗が遅延が発生しており早期の工事着手ができるように用地取得の推進に努める。														
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

4. 29年度見直し内容及び30年度実施に向けた方向性

取組項目	事務事業名	29年度事業の実施にあたり見直した内容 (H29の新たな取組は「H29新規」等と記載、見直しがない場合は「―」と記載)	30年度事業の実施に向けた方向性		
			事業機軸の視点	見直しの方向	見直し区分
取組項目 i	道路整備事業 (単独)	用地取得状況を勘案しながら全体的な整備の優先順位を精査し、道路整備を推進する。	①	交通支障箇所はまだ多く存在することから、今後も計画的に事業を推進するため用地取得を図っていく。	現状維持
	道路改良調査費	—	①	道路整備が全国に比べて遅れている状況であり、今後も計画的な新規事業化が必要不可欠であることから、事業の必要性や整備の優先順位を行なっていく。	現状維持
	みちづくりスクラム事業	一部計画変更により進捗が遅延しているため、計画変更に伴わない箇所について、工事の推進を図る。	⑤	計画変更が伴わない箇所について工事推進に努めるとともに、事業推進に向け、今後も関係市町村である対馬市と連携を行なう。	改善